

Ⅱ. 後期基本計画

施策65

機能的で活力のある 組織運営の推進

施策の目指す姿

適正な定員管理のもと、社会情勢の変化や市民ニーズの多様化などに柔軟かつ的確に対応できる機能的な組織運営がされています。

また、職員一人一人の能力が最大限に発揮され、活力のある組織が実現されるとともに、市民から信頼される人材が育成される人事管理制度が確立されています。

施策の現状

豊富な知識と経験、技術を持った職員の大量退職が続く中、業務改善につながる事務事業の見直しを踏まえた組織の簡素化・合理化などの措置を講じるとともに、新たな行政需要に対しては、職員の弾力的な配置などにより対応し、職員の定員適正化に努めています。

職員の資質向上や能力開発については、狭山市人材育成基本方針に基づき毎年研修計画を策定し、職員研修の実施などにより、職員の政策形成能力や専門性を高め、分権型社会の担い手にふさわしい人材育成に取り組んでいます。また、人事評価制度により、職員自らが目的意識を持ち、自主的な管理に基づき職務が遂行されています。

施策の課題

- 機能的な組織の確立と適正な定員管理を行うとともに、人材育成と連動した人事管理制度を導入し、職員が生き生きと働く活力のある組織づくりが必要です。

主なとりくみ

(1) 機能的な組織運営の推進と定員管理の適正化

- 多様化する行政課題や市民ニーズに対応するため、常に組織体制の見直しを図るとともに、業務量に応じた職員数を確保し、適切な職員配置を行います。

(2) 活力のある組織を支える人材育成

- 人事評価制度、職員研修、ジョブローテーションの連動により、総合的な人事管理制度を確立し、活力ある組織を支える人材育成を進めます。
- 職員一人一人が意欲を持って行政課題の発見や職務改善に取り組み、やりがいを持って生き生きと働くことができる職場環境の整備を進めます。

施策の成果目標

項 目	実績値	目標値
	令和元年度	令和7年度
研修受講者の満足度	96.6%	100%
職員提案のうち、実施した件数及び実施するよう指示した件数（平成28年度からの累計）	58件	148件

市民・団体・事業者などに期待する協働による行動

※設定しない

関連するSDGsのゴール

- ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう
- ゴール8 働きがいも経済成長も
- ゴール16 平和と公正を全ての人に
- ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう

